

協定締結機関のご紹介

都産技研では、大学研究機関、支援機関、行政機関、金融機関など、4月現在で40の機関と包括協定等を締結しています。それぞれの機関が持つ特性を生かしあい、連携していくことで、東京の産業振興の発展、地域産業の活性化を図ることを目的としています。



学校法人 芝浦工業大学

(平成21年3月12日協定を締結)

今回は、産学公・地域連携活動の活性化の一環として協定を結んだ「芝浦工業大学」をご紹介します。芝浦工業大学の古瀬氏、松日楽氏、芳賀氏、鈴木氏に連携事業についてお話を伺いました。

連携のメリット



複合領域産学官民連携推進本部 副本部長

古瀬 利博 氏

本大学は、建学時から実践型の技術者・研究者の養成を使命としてきました。都産技研と協定を結ぶことで、お互いの持っているネットワークを活用して、中小企業支援の幅が広がると考えています。また、臨海副都心と豊洲という隣接した地域にお互いの拠点があることから、イベントに参加しあったり、私たちのプロジェクトにも参加していただいたりしています。都産技研と本大学には、実学重視でロボット技術に力を入れているといった共通点などがあります。将来的には、中小企業をサポートするモデルとなるような支援プロジェクトを協力してつくり、湾岸エリアから発信していければと思います。

産業人材育成での連携



豊洲学事部 産学官連携・研究支援課 課長

羽賀 文雄 氏

2009年から人材交流の一環として、都産技研の方に客員教授や客員准教授として学生達の指導をしていただいています。大学の教員だけではカバーしきれない研究分野を扱うことができ、教育に厚みが出ています。



研究開発面での協力



工学部機械機能工学科 教授

複合領域産学官民連携推進本部 副本部長

松日楽 信人 氏

私たちの得意分野の一つに、ロボット技術があります。ロボット技術はまだまだ話題だけが先行していて、実用的な技術は普及していません。そこで、私たちはベイエリアに関係をもつ企業、研究機関、大学と連携し、「ベイエリアおもてなしロボット研究会」を立ち上げました。研究会を通して、基礎研究から実用化までを一気に行える場をつくっていきたいと考えています。私たち大学は基礎研究が中心となりますが、都産技研はそれを受けて実用化へとつないでいくための重要なパートナーです。ベイエリアから新しいロボットや産業をつくっていくためにも、協力関係を深めていきたいと思っています。



コンシェルジュロボット
(ロボットの移動ベースは、都産技研で開発したものを使用)
首都大学東京とも共同研究実施

中小企業の悩みを一緒に解決



豊洲学事部 産学官連携・研究支援課 課長補佐

鈴木 健一 氏

私たちの大学には、分野ごとに経験豊富な技術コーディネーターが常駐しており、都産技研の研究者やコーディネーターとも連携して、中小企業の皆さまの悩みをどうすれば解決できるかを一緒に考えていますので、お気軽にご相談いただければと思います。

TIRI NEWSでは、引き続き協定締結機関のご紹介を行っていく予定です。

お問い合わせ 交流連携室<本部> TEL 03-5530-2134